



援農状況 Let's Activate Area AGRI

- ① 12月の援農は、1,049.5時間(内無償研修は18時間)でした。2012年度の援農時間は計13,256.5時間となりました。
- ② 援農依頼のあった農家は11軒、援農参加者は38人でした。
- ③ 作業内容は、草取り、収穫と整え作業(里芋・京芋・八頭・小松菜・ねぎ・人参・ほうれん草・カブ・さつまいも・大根・春菊)、ほうれん草たねまき、トンネル掛け(レタス・ほうれん草)、ハウス作業(トマト定植と準備、ハウス樽栽培トマトの作業(下葉取り、収穫)、堆肥袋詰め、埋ける(大根・里芋)、白菜結び、イネ脱穀と片づけ、長芋片づけ などです。

イベント情報



- ・2/23(土) 10時~12時 総会 場所:市役所食堂
12時半~15時 援農アンケートに基づく討論会
お弁当用意します
- ・3/16日(土) 13時半~16時 場所:台町市民センター
夏野菜作り講習会
講師は鈴木俊雄さん

新しく入会された方々

神谷直樹さん(下恩方町)、志村泰宏さん(下恩方町)

援農体験記

『休日の有効活用』

散田町 森 剛

援農に参加する前の休日の過ごし方といえば、かみさんから掃除の邪魔だと言われるながらもお昼ごろまでゴロゴロ過ごすというのが一般的なパターンでした。

こんなことではいけないと思いつつ偶々見つけた援農の記事、それが八王子市内の援農団体を探すきっかけでした。

入会して半年、土曜日(又は日曜日)だけ援農に参加し、平日は会社勤めというのが私の援農スタイルです。日々パーティーで仕切られた狭いスペースで机に向かって仕事をしているからでしょうか、日光を浴び、野菜や畑の土に触ることによって癒されているようにも感じます。予想外の副産物に感謝です。

また、西八王子駅近辺に限られていた行動範囲も一気に広がりました。出来る限り自転車を利用し、行き帰りにも汗をかこうと思っています。

まだまだ足手まといでマイナス評価であろうと思いますが、当てにして頂けるよう頑張りますので、宜しくお願いします。

平成25年度年会費まだの方は納入をお願いいたします。正会員は1500円、ただし、ご家族2人目以降の方は500円です。援農参加が難しい方は賛助会員(年会費1000円)でもいいです(イベント参加可能・月報配布します)。

理事会・分科会だより

第1回理事会開催 1月12日(金) 18:00~20:40

台町市民センターにて 出席者;理事計9名 監事1名

・総会議案書作り

・平成24年度活動報告・決算報告・監査報告

・平成25年度活動計画・予算案

・定款の一部改正・規定の一部改正・役員改選

・主たる事務所の変更(八王子市内に変更)その他

・援農と富所農園運営は収益事業としていたが、この度税理士に指導・アドバイスを頂き、2013年度より非営利活動に変更する事が税務署に承認された。

援農分科会開催 1月16日(水) 9:00~12:00

クリエイイトホールにて 出席者 理事2名 会員5名

・援農アンケートの考察

・夏野菜作り講習会の計画

ちょっと耳にした情報・アドバイス



家庭でできる原木なめこの栽培 日野市南平 遠藤喜夫

原木なめこのほだ木には、トチノキ、イタヤカエデ、ホオノキ、サクラ、クルミ、シデ、ヤナギ、コナラなどが利用できます。直径10~30cm位が適しています。木の成長の止まる11月上旬から3月下旬までに伐採し、1~2m(長木栽培)または15~20m(短木栽培)に玉切り(輪切り)します。玉切り後はできるだけ早く接種します(ただし長木の場合は、1~2か月枝干しします)。接種は樹皮表面に千鳥模様に、9.2mmのキリで25~30mmの深さに穴を開け、ハンマーで種駒を打ち込み、表面が平らになるようにします。接種したほだ木を温暖な場所に『横積み』か『地伏せ』し、周囲をワラやシェード、ビニールなどで覆います。木口面や種駒になめこ菌が発菌するまで、時々軽く散水します(仮伏せ)。3月頃、風通しや水はけの良い木漏れ日の入る場所に、地面に本伏せします。接種翌年秋、気温が5~10℃に低下すると、発生します。発生前と発生中は2~3日に1回散水します。二夏か三夏後の秋が最盛期。発生中のほだ木を動かすと発生が止まることがあるので注意が必要です。(わかりやすい資料をご希望の場合は事務局まで)